

AUTO FEEDER
Tetra
オートフィーダー
観賞魚用

取扱説明書

発売元 テトラ ジャパン株式会社

製品仕様

1. 使用温度範囲：0 ~ +50
2. 使用電池：単3マンガン乾電池（R6P）2本 添付
単3アルカリ乾電池も使用可能
3. 電池寿命：約2ヶ月
（単3マンガン乾電池で1日2回給餌条件時）

テトラ製品に関するお問い合わせ先
電話受付時間：電話受付時間：月曜日から金曜日までの
午前10:00～12:00 午後2:00～5:00
（土・日・祝日は休業いたします）
電話番号：03-3794-9977

〒153-0062 東京都目黒区三田1-6-21アルト伊藤ビル
テトラ ジャパン株式会社
テトラインフォメーションセンター

取説番号：BOB-984A

ご注意点
必ずお読みになってからご使用ください。

警告

- <アルカリ電池について> 添付の電池はマンガン電池です。
- (1) ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
 - (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- <梱包用ポリ袋について>
ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

注意

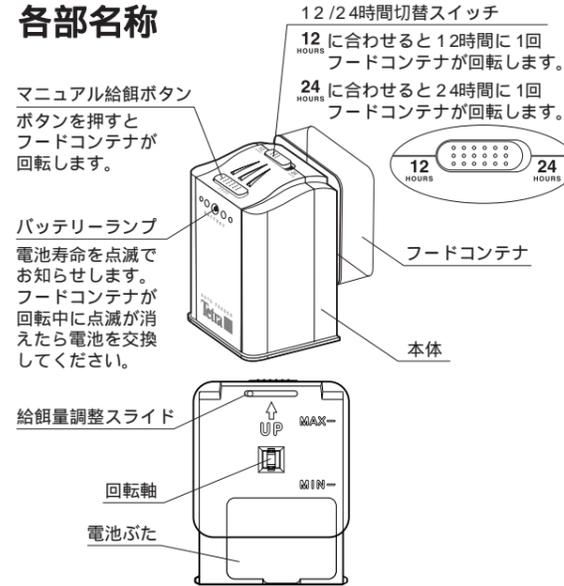
- <電池について>
下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。
- (1) 正しく入れてください。
 - (2) 製品仕様の電池寿命を経過した場合は、製品がまだ動いていてもすべての電池を新電池と交換してください。
また、ご使用にならないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、古い電池からの液漏れ等で製品や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
 - (3) 添付の電池は充電式ではないので充電すると液もれ、破裂のおそれがあります。
 - (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
 - (5) 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。
 - (6) 製品が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。
 - (7) 添付の電池は工場出荷時より付けられています。電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。
 - (8) 電池のとりかえは早めに行ってください。給餌動作中にバッテリーランプの点滅が消えた時にはすぐに電池を交換してください。
 - (9) 電池寿命については、長期間留守にされる場合など、特にご注意ください。
- <給餌について>
必ずえさの量を給餌量調節スライドで調節して、実際に給餌量を数回確認してからご使用ください。

本製品は屋内使用です。
また、下記のような場所では使わないでください。
機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起すことがあります。

- ・温度が0（氷点下）以下になる所
- ・温度が+50（50度）以上になる所
- ・塵、埃の多い所
- ・大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所
- ・浴室など湿気の多い所
- ・振動の激しい所
- ・工場、台所など多くの油を使用する所

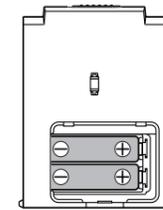
湿ったえさ、粘りのあるえさ、粒の大きすぎるえさは使用しないでください。
えさの量はフードコンテナの目盛のMIN～MAXの間で使用し、補給は早めに行なってください。
フードコンテナ内は定期的に清掃し、古いえさが残らないようにしてください。
水のかからない場所に設置してください。水中フィルターやエアストーン等の上には設置しないでください。製品の故障やえさが湿気してしまう原因になる場合があります。
本製品を水中につけたり、本体を水洗いしたりしないでください。故障の原因になります。
本体をふく場合は、少し湿ったやわらかい布でふいてください。ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。
お客様が分解しますと、修理不可能になる場合やけがの恐れがあり大変危険ですのでご注意ください。
この製品によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

各部名称

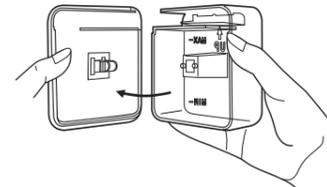


ご使用方法

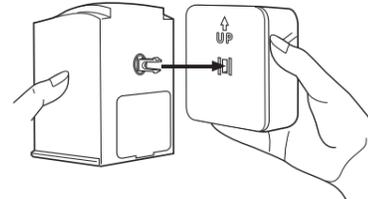
1. フードコンテナを本体から取り（回転軸を中心にまっすぐ引き抜くと簡単に取れます。）裏面電池ぶたを外し+/-を間違えないように電池を入れてください。
マニュアル給餌ボタンを1回押してください。
フードコンテナが1回転して止まります。
バッテリーランプがすばやく点滅（通常は約1秒に1回の点滅）した場合や、マニュアル給餌ボタンを押して約10秒後に回転しはじめる場合は、電池を取り出し再度入れなおして再びマニュアル給餌ボタンを1回押してください。



2. フードコンテナを開き、えさを入れてください。（湿ったえさ、粘りのあるえさ、粒の大きすぎるえさは入れないでください。）↑UP刻印を同じ方向にして、フードコンテナを閉じてください。

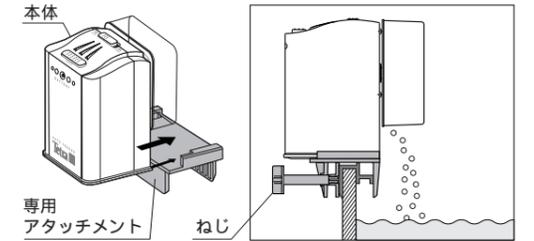


3. フードコンテナを本体裏面の回転軸に押し込み、取り付けてください。この時↑UP刻印方向（給餌量調節スライド）が上になる様に取り付けてください。

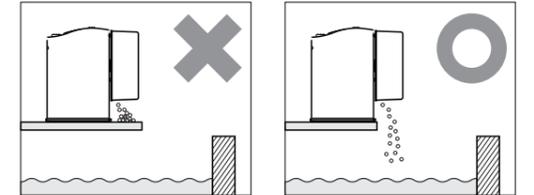


4. えさの量を給餌量調整スライドで調整してください。実際に水槽以外の別の場所でえさを出しながら調整してください。
5. えさの給餌回数（時間）設定方法（本体に電池を入れた状態でおこないます。）
1日の給餌回数を本体上部の12/24時間切替スイッチで切り替えます。
12時間毎（2回/1日）、24時間毎（1回/1日）の設定が可能です。12/24時間切替スイッチを動かして設定したい時間へあわせませす。
12/24時間切替スイッチを動かした時点より12時間、または24時間後にフードコンテナが回転します。タイマーは電池を入れた時からスタートしますが、12/24時間切替スイッチを切り替えた時点でリセットされ、再スタートします。（マニュアル給餌ボタンを押してもリセットはされません。）
6. 本体を固定します
専用アタッチメントを、水槽枠などのえさが水槽内に落ちる場所を選び、枠をささむようにしっかりとねじを締め込んで固定してください。その際フードコンテナの回転範囲に障害物が無いことをご確認ください。

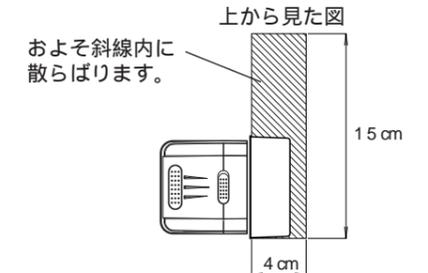
取り付けられる水槽枠は、2～22mmとなります。



枠幅が太く、専用アタッチメントではさめない水槽などは、専用アタッチメントを使わずに設置場所を決めてください。この時フードコンテナの下に障害物が無いように設置してください。また、設置の際には両面テープ等で本体を固定するなどして、落下させないようにご注意ください。



えさの落下範囲の目安は下図の通りですがえさの種類、大きさにより多少の違いがあります。



大きなフレークフードの場合は、フードコンテナの給餌口に詰まって、毎回均一な給餌ができない場合がございますので、細かく砕いてご使用ください。

BOB-984A